

2014年9月期

決算補足説明資料



2014年11月10日 株式会社フィックスターズ（東証マザーズ3687）



本資料に記載の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報および仮説に基づき当社が判断したものであります。当該仮説や判断に含まれる不確定要素や事業環境の変化による影響等の様々な要因により、実際の業績等は本資料記載の業績予想とは異なる場合があることをご承知おきください。

財務データ数値は、2012年9月期より連結の数値としております。

当社は、2013年4月25日付で株式1株につき100株の株式分割を行っております。また、2014年8月1日付で、株式1株につき5株の株式分割を行っております。当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の1株当たり指標の推移を記載しております。

2013年9月期の四半期売上高および利益については、有限責任あずさ監査法人の四半期レビューおよび監査を受けたものではありません。

① 2014年9月期通期 決算概要



② 2015年9月期通期 業績予想



③ 当社の成長戦略





①

2014年9月期通期 決算概要



②

2015年9月期通期 業績予想



③

当社の成長戦略



2014年9月期 通期決算ハイライト

業績

- 通期予想を上回り前年比で**大幅な増収・増益**を達成
売上高：**29.38億円**(前期比 **70.3%増**)
営業利益：**4.52億円**(前期比 **78.7%増**)
ROE：**26.5%**
- 1株当たり配当金予想を12円に**上方修正**
業績予想を上回る利益達成により11円から引き上げ

セグメント別概況

- ソフトウェア・サービス事業
高速化サービス、ストレージ分野向けサービスともに**好調**
- ハードウェア基盤事業
画像処理プロセッサ搭載演算ボードの量産・販売が**好調**（前期比大幅増）

自社製品開発状況

- ソフトウェア・ライブラリ『M³（エム・キューブ）』
独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の支援事業採択により開発を加速
- 大容量高速ストレージ
当初計画に沿って開発・テストとも順調
ストレージ事業拡大・体制強化を目的とし、横浜事業所を9月に開設

2014年9月期 通期決算概要 – 損益計算書 –

- **売上・利益とも通期予想を上回り、前期比大幅増収・増益を達成**
- 売上高 : 29.38億円(前期比 **70.3%増**)
- 営業利益 : 4.52億円(前期比 **78.7%増**)
- 経常利益 : 4.37億円(前期比 **69.8%増**)

(単位：百万円)

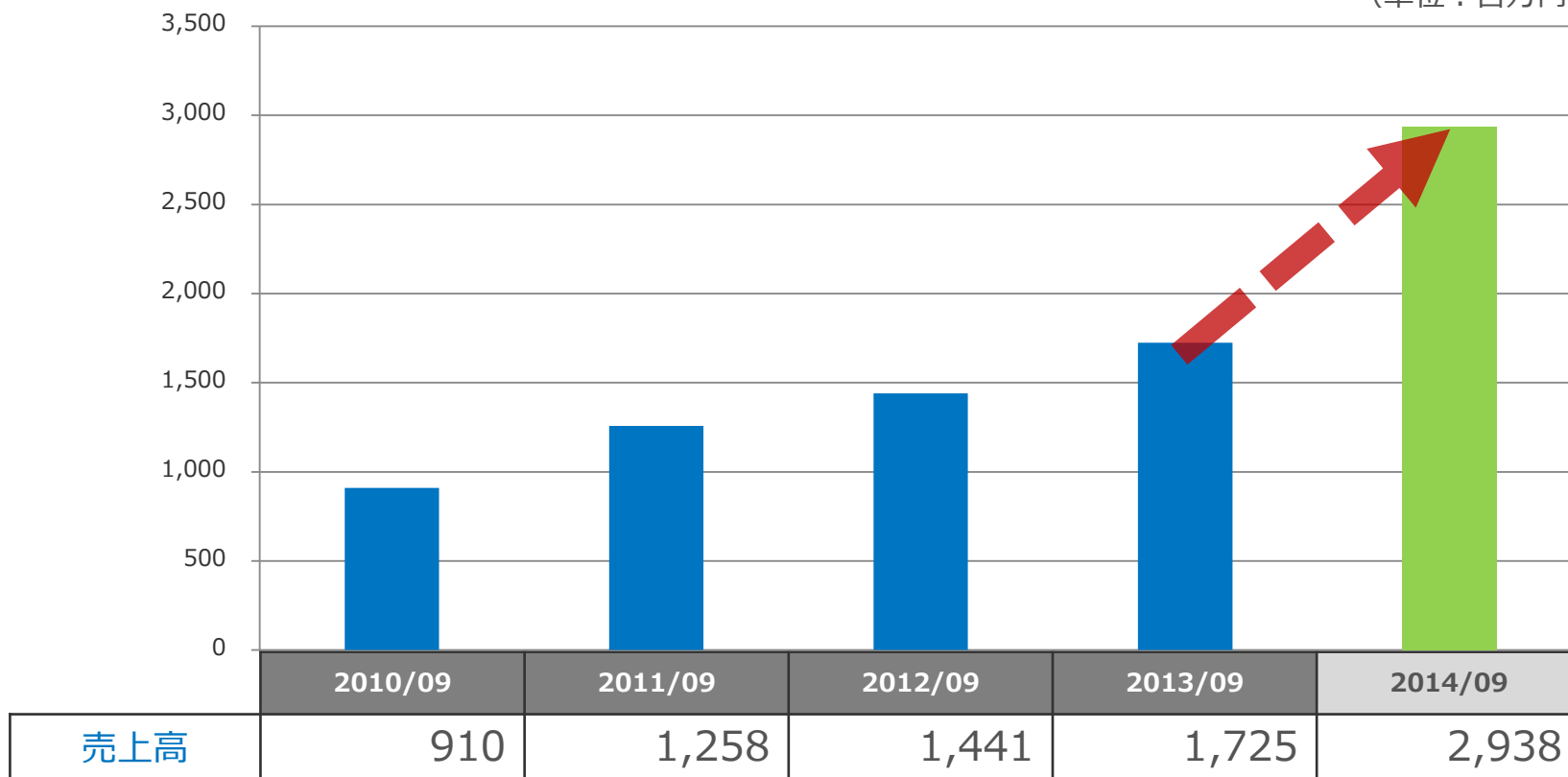
項目	2014年9月期実績					通期実績	2014年 9月期 通期予想	2013年 9月期 通期実績
	第1四半期 2013年 10月~12月	第2四半期 2014年 1月~3月	第3四半期 2014年 4月~6月	第4四半期 2014年 7月~9月				
売上高	657	778	708	793	2,938	2,794	1,725	
営業利益	142	125	78	106	452	408	253	
売上高 営業利益率	21.6%	16.1%	11.1%	13.4%	15.4%	14.6%	14.7%	
経常利益	144	116	67	109	437	388	257	
売上高 経常利益率	21.9%	15.0%	9.5%	13.8%	14.9%	13.9%	14.9%	
当期純利益	87	74	40	71	273	237	169	

通期業績推移 – 売上高 –

● 売上高：29.38億円(前期比 **70.3%増**)

通期売上高の推移

(単位：百万円)



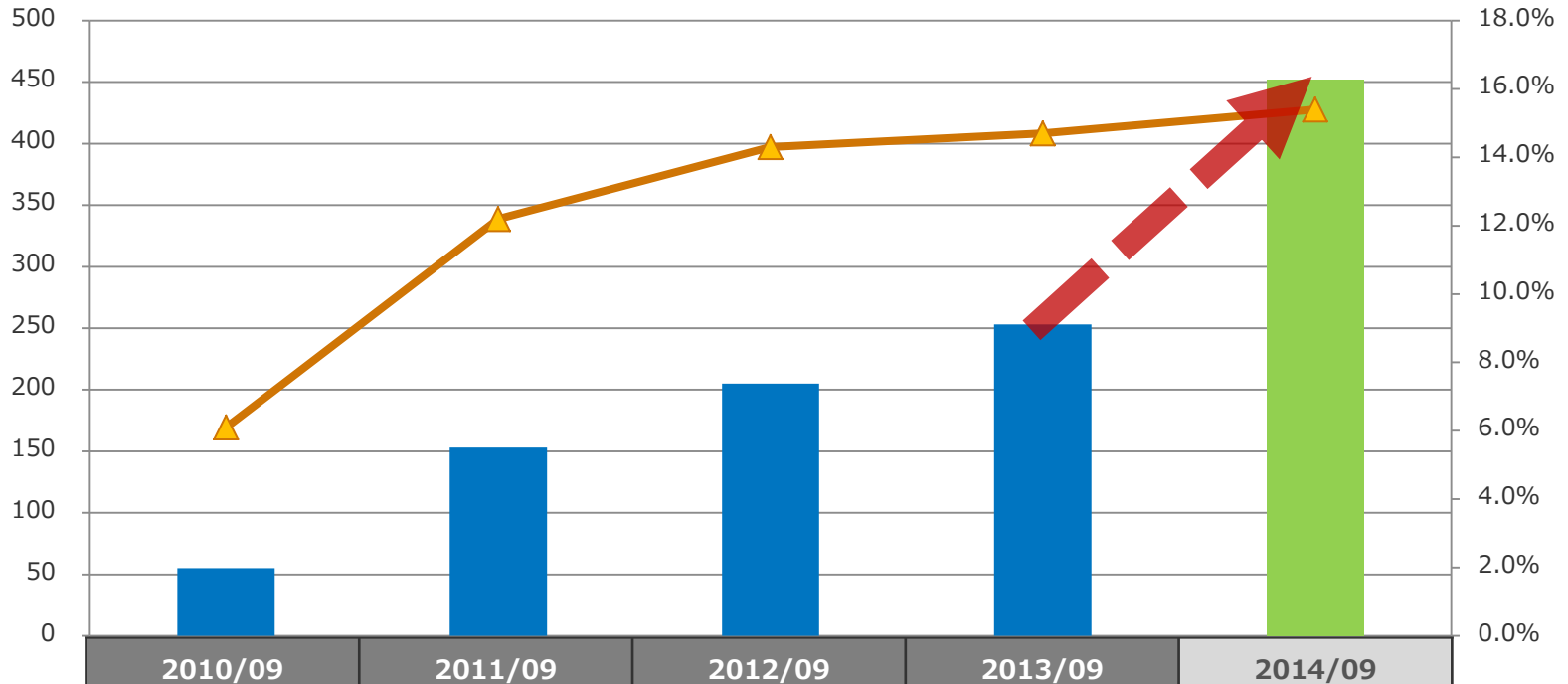


通期業績推移 – 営業利益 –

● 営業利益： 4.52億円(前期比 **78.7%増**)

通期営業利益の推移

(単位：百万円)



	2010/09	2011/09	2012/09	2013/09	2014/09
営業利益	55	153	205	253	452
売上高営業利益率	6.1%	12.2%	14.3%	14.7%	15.4%

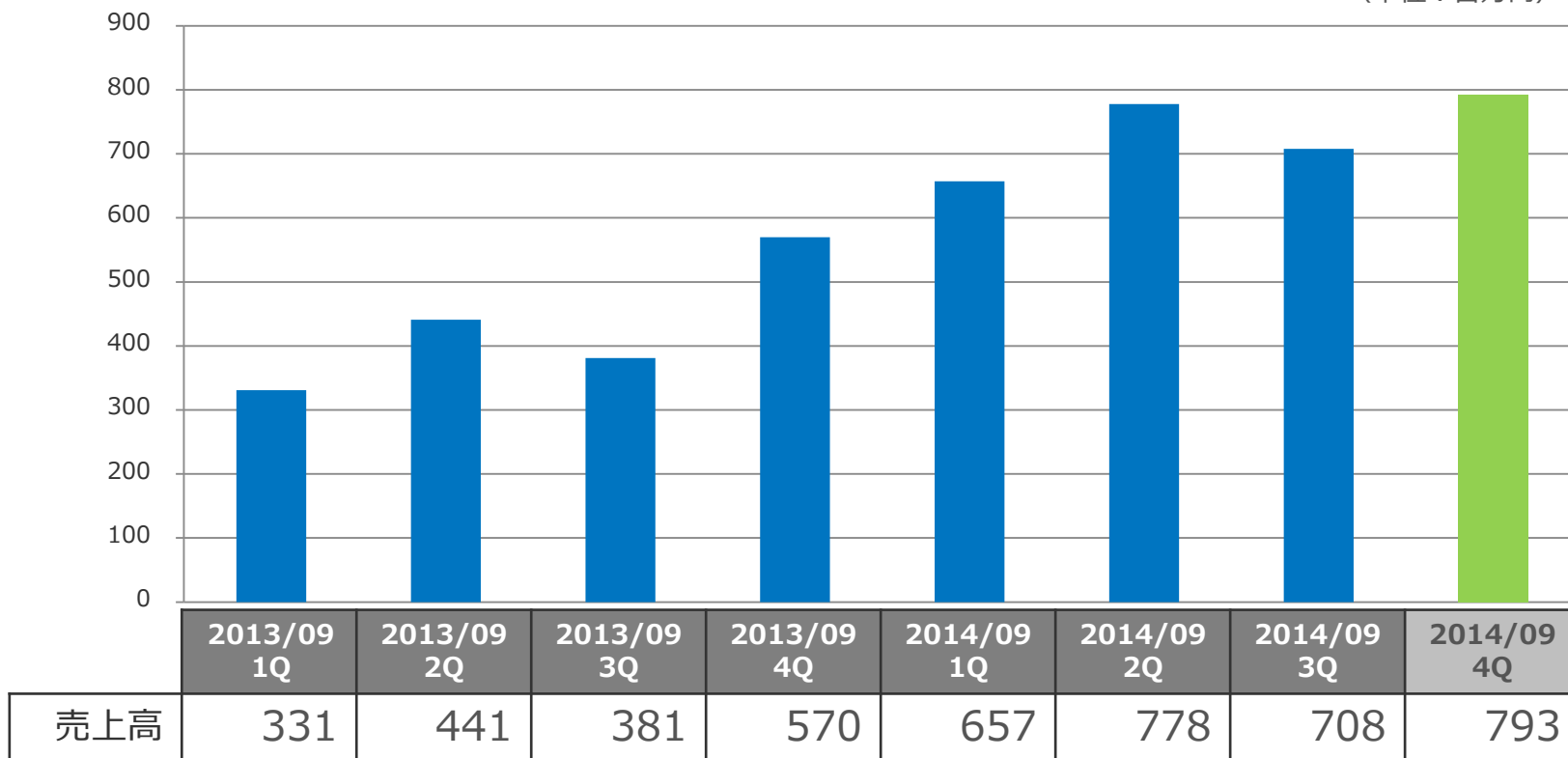


四半期業績推移 - 売上高 -

- 第4四半期(2014/7~9) : 7.93億円 (前年同4Q(2013/7~9)比 39.0%増)
- 過去最高の四半期売上高を達成

四半期売上高の推移

(単位：百万円)



※お客様の予算が、1年を上期と下期に分けた9月と3月の半期末を区切りとするものが多いため、特定の期間（当社2Qおよび4Q）にて業績の偏重が発生します。

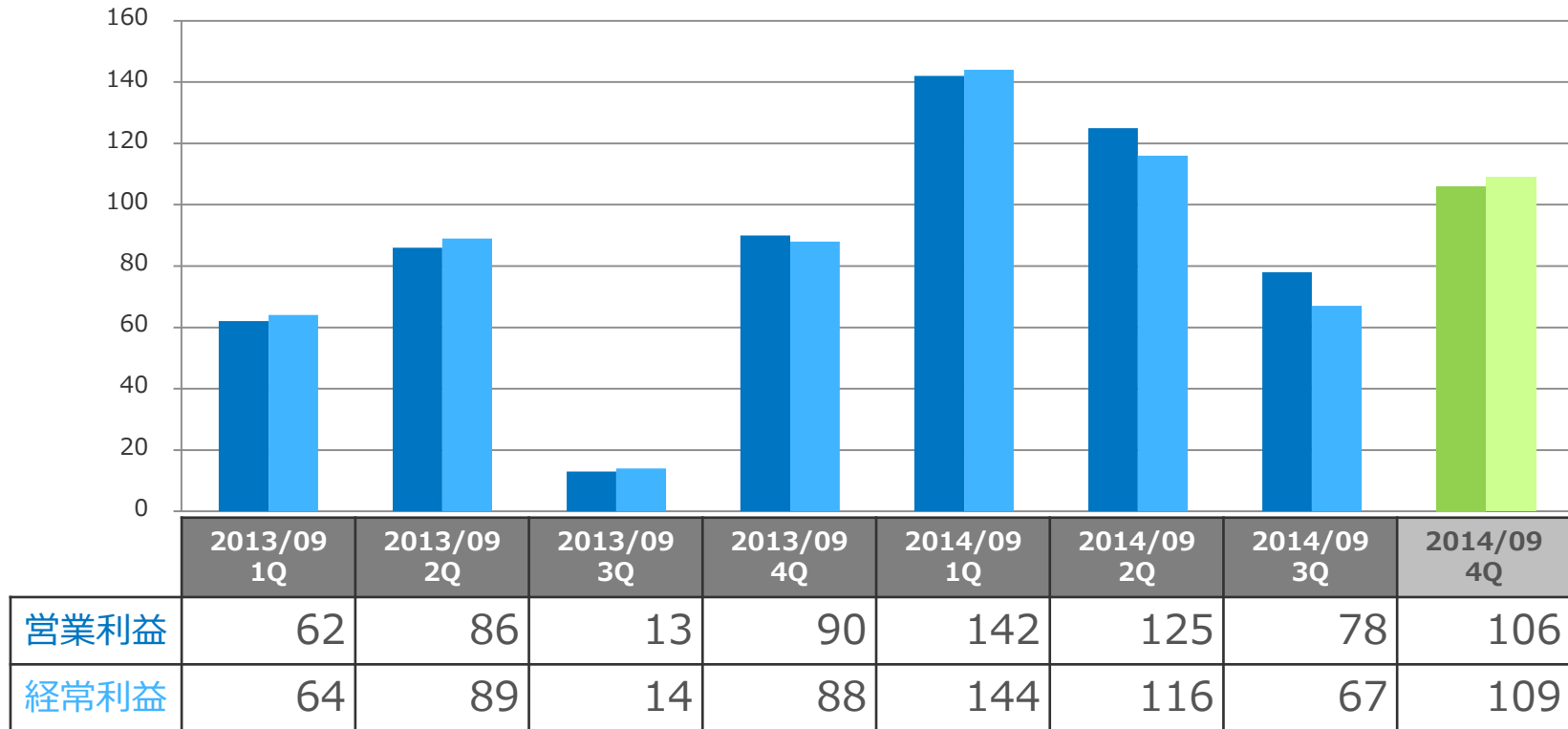


四半期業績推移 – 営業利益・経常利益 –

- 第4四半期(2014/7~9) : 営業利益 106百万円 (前年同4Q(2013/7~9)比 17.3%増)
経常利益 109百万円 (前年同4Q(2013/7~9)比 23.7%増)
- 年間計画に即した費用発生 (上場関連費用・投資拡大(研究開発費・採用費))

四半期利益の推移

(単位：百万円)

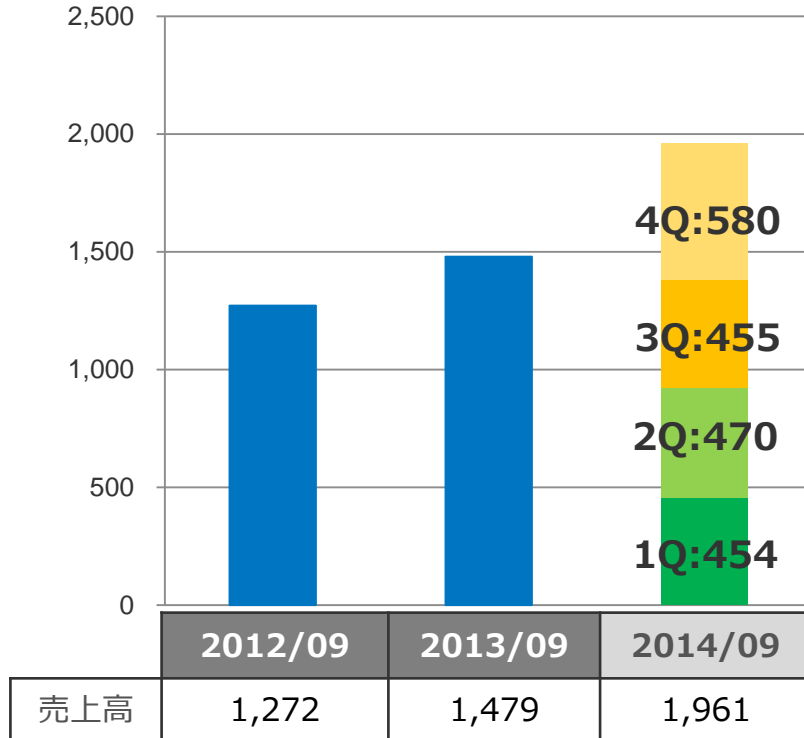


業績推移 – ソフトウェア・サービスセグメント –

- 売上高：第4四半期(2014/7~9) 5.80億円、通期累計 19.61億円
- 利益：第4四半期(2014/7~9) 79百万円、通期累計 3.53億円
- **通期収益が前期比大幅増（売上高32.6%増、利益20.7%増）**
- 第3四半期同様、事業拡大を目的とした投資を継続

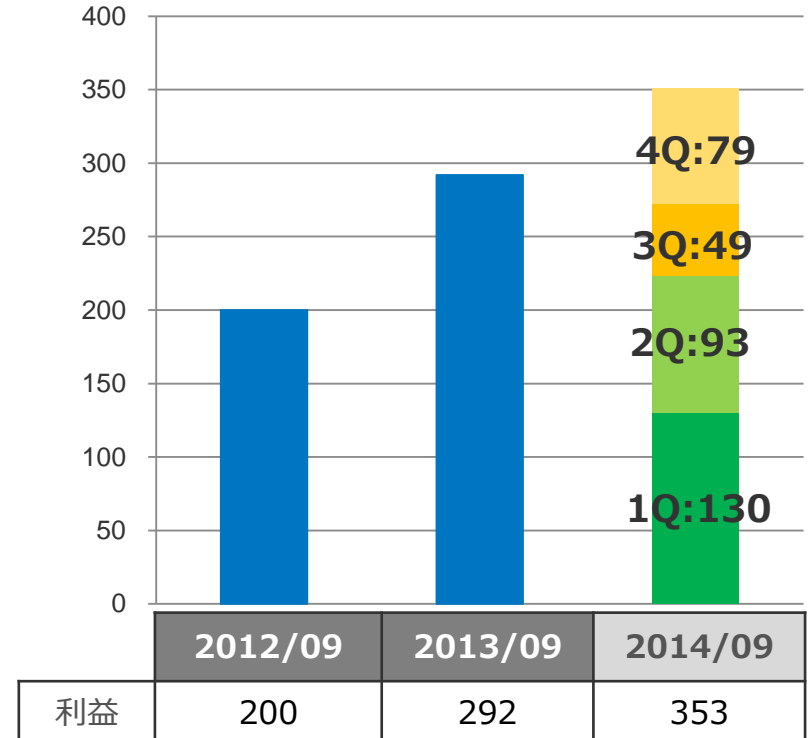
売上高（累計）

(単位：百万円)



セグメント利益（累計）

(単位：百万円)

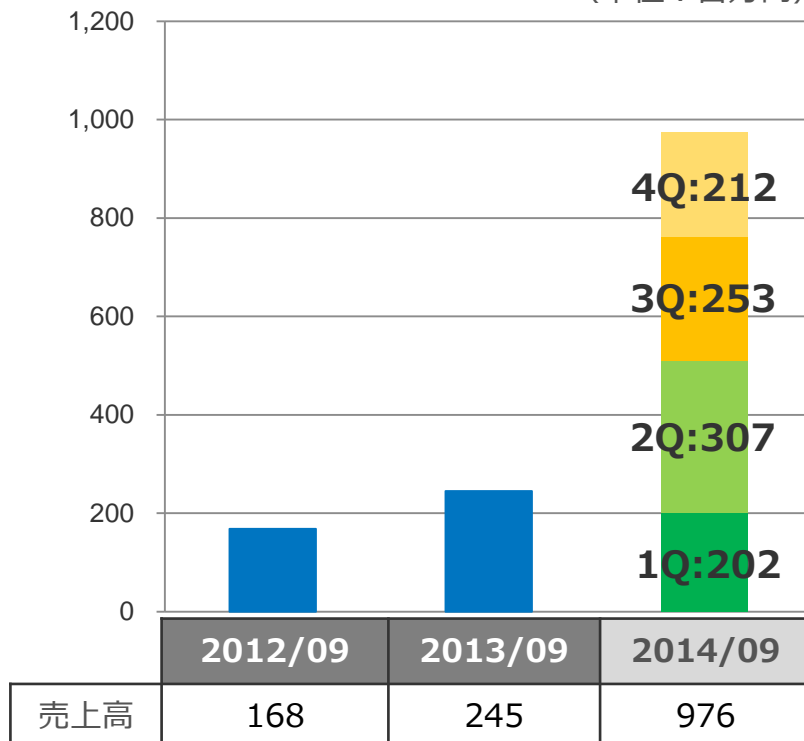


業績推移 – ハードウェア基盤セグメント –

- 売上高：第4四半期(2014/7~9) 2.12億円、通期累計 9.76億円
- 利益：第4四半期(2014/7~9) 27百万円、通期累計 1億円
- 売上高は、**前期比約4倍 (297.3%増)**
- 利益は、前期の39百万円赤字から黒字転換し、**全社増益に大きく貢献**

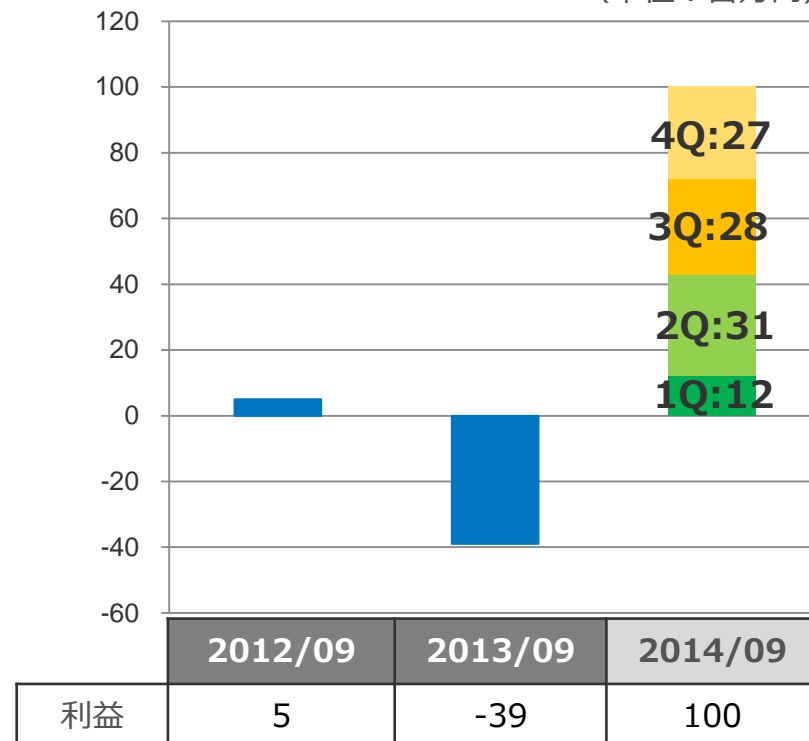
売上高 (累計)

(単位：百万円)



セグメント利益 (累計)

(単位：百万円)





2014年9月期 通期決算概要 – 貸借対照表 –

(単位：百万円)

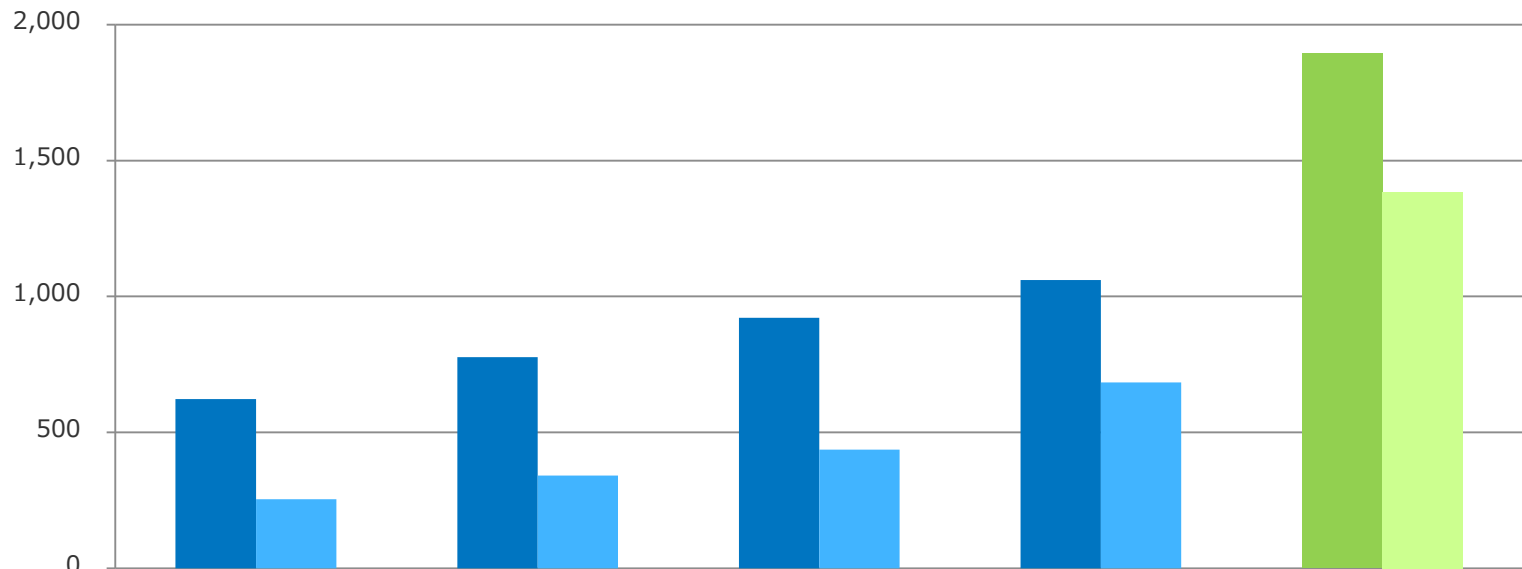
		2014年 9月期	2013年 9月期	前期比増減率
	流動資産	1,728	965	+79.0%
	(現預金)	946	455	+107.9%
	固定資産	165	94	+74.4%
	総資産	1,894	1,060	+78.6%
	流動負債	481	254	+89.4%
	固定負債	30	121	-75.3%
	自己資本	1,382	684	+101.9%
	負債+自己資本 合計	1,894	1,060	+78.6%

業績推移 — 総資産 —

- 資産：総資産 18.94億円、純資産 13.82億円(自己資本比率 73.0%)
- 東証マザーズへの上場に伴い 3.76億円調達、1.88億円を資本組み入れ
- ROE（自己資本当期純利益率）：**26.5%**

資産推移

(単位：百万円)



	2010/09	2011/09	2012/09	2013/09	2014/09
総資産	622	777	921	1,060	1,894
純資産	254	341	436	684	1,382

- 1株当たり配当金予想を12円に修正 ⇒ 配当性向 **28.3%** (前期20.0%)

	1株当たり 年間配当金	増配率 (前年比)	1株当たり 当期純利益
今回修正予想 2014年9月期	12円	+ 100%	46円31銭
前回予想 (2014年8月5日) 2014年9月期	11円	+ 83%	40円21銭
前期実績 2013年9月期	30円		30円86銭

当社は2014年8月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2014年9月期の配当金額は、分割後の株式数で算出しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の配当金額は、60円00銭であります。



① 2014年9月期通期 決算概要



② 2015年9月期通期 業績予想



③ 当社の成長戦略



2015年9月期 通期業績予想のポイント

業績

■ 増収・増益

売上高：33.33億円（2014年9月期比 13.5%増）

営業利益：4.60億円（2014年9月期比 1.7%増）

※業績予想は受注残より策定。販売初年度の大容量高速ストレージ売上は0.3億円を計上。

■ 自社製品事業に積極投資

業績予想を上回る利益は、積極的に投資し**成長を加速**

ソフトウェア・サービスセグメント

■ ソフトウェア高速化サービス

医療分野、車載等の産業機器分野での画像処理関連案件が堅調の見込み

■ ストレージ関連サービス

フラッシュメモリ向けファームウェア関連案件が好調の見込み

ハードウェア基盤セグメント

■ 画像処理プロセッサ搭載演算ボード販売

顧客最終製品販売の好調に伴い、引き続き堅調の見込み

■ 次期戦略事業となる大容量高速ストレージ事業の拡大

『Fixstars SSD-3000M』の販売を強力に推進

研究・開発

■ 大容量高速ストレージ

大容量タイプや異なる外部接続規格に順次対応・製品化

■ M3（エム・キューブ）

画像処理アルゴリズム拡張および対応プロセッサを拡大



2015年9月期 通期業績予想

2015年9月期 業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2015年9月期 業績予想	3,333	460	453	277
2014年9月期 実績	2,938	452	437	273
増減率	+13.5%	+1.7%	+3.6%	+1.2%

配当予想

	1株当たり 年間配当金	1株当たり 当期純利益	配当性向
2015年9月期	12円	42円04銭	28.5%
2014年9月期	12円	46円31銭	28.3%
2013年9月期	30円	30円86銭	20.0%

当社は2014年8月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2014年9月期の配当金額は、分割後の株式数で算出しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の配当金額は、60円00銭であります。



① 2014年9月期通期 決算概要



② 2015年9月期通期 業績予想



③ 当社の成長戦略



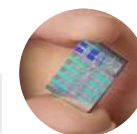
フィックスターズとは？

事業内容	マルチコアプロセッサ関連事業	 <p>本社：品川区大崎</p>
設立	2002年8月	
資本金	4億9,096万円（2014年9月末 現在）	
社員数	124名（2014年9月末 現在）	
所在地	大崎（本社）、横浜	
代表取締役	代表取締役会長 - 長谷川 智彦 代表取締役社長 CEO - 三木 聡	
子会社	Fixstars Solutions, Inc.（米国カリフォルニア州、100%子会社）	
主な取引先	東芝、キャノン、日立メディコ、日立ハイテクノロジーズ、オリンパス、みずほ証券、日立アロカメディカル、宇宙航空研究開発機構、日本原子力研究開発機構など	

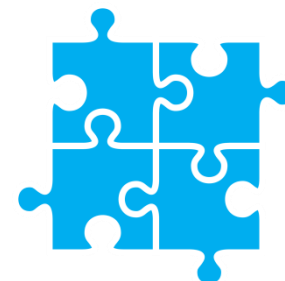
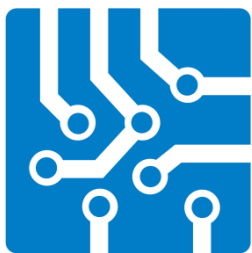
**マルチコアプロセッサ／フラッシュメモリを駆使した
高速処理のソフトウェア・パートナーです**

フィックスターズの歩み

2002年	8月	神奈川県横浜市に有限会社フィックスターズ設立
2002年	10月	株式会社フィックスターズに組織変更
2004年	7月	マルチコア技術開発部設立、Cell/B.E.ソフトウェア開発サービス開始
2006年	12月	PlayStation® 3の発売を受け、「PS 3® Information Site」を立ち上げる
2008年	5月	みずほ証券株式会社向けにデリバティブ計算用グリッドシステム構築
	10月	100%子会社として、Fixstars Solutions, Inc.を米国カリフォルニア州に設立し、米国 Terra Soft Solutions Inc.よりYellow Dog Linux事業を譲り受ける
2009年	12月	「OpenCL入門－マルチコアCPU/GPUのための並列プログラミング」を発売
2010年	11月	米国空軍研究所に、PlayStation® 3を用いた高速クラスタシステムを導入
2010年	12月	NEDOの「低消費電力メニーコア用アーキテクチャとコンパイラ技術」開発事業に採択
2013年	4月	米国Nallatech Inc製FPGAボード「Altera Stratix V」を発売開始
	6月	株式会社東芝から1億円の出資を受ける
	10月	オリンパス株式会社のレーザー走査型顕微鏡でM ³ （エム・キューブ）ソリューションが採用
2014年	4月	東京証券取引所マザーズ市場に上場
	7月	大容量高速ストレージ製品『Fixstars SSD-3000M』を発表



当社独自の高速化技術『M³ (エム・キューブ)』により
『大量の計算処理』および『大量データの読込/書込』を高速化



マルチコア/マルチノード
最適化技術

メモリ/I/O
高速化技術

マルチアーキテクチャ
サポート

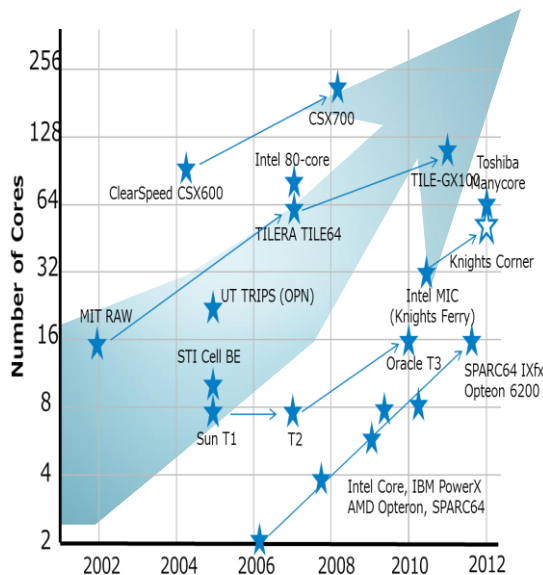
ソフトウェア・サービス事業

ハードウェア基盤事業

それぞれのお客様に最適な高速化ソリューションの提供により、
お客様の『商品・ビジネスの刷新』と『エネルギー削減』を実現

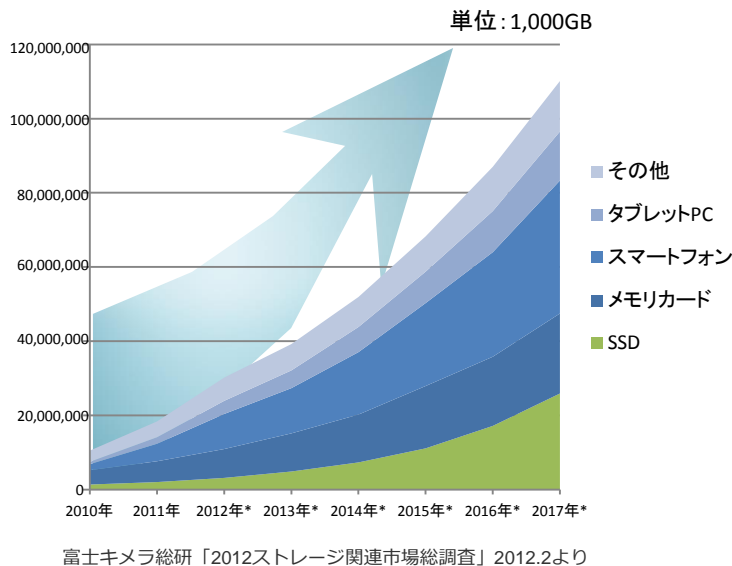
当社市場の環境：ITパラダイムシフト

マルチコア化



複雑性の増加

メモリ高速化



高速ソフトが重要に

ソフトウェアの巨大化

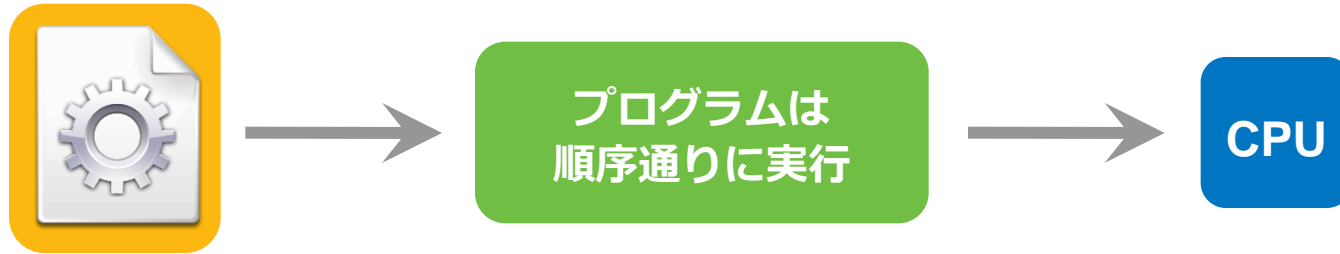


ソフト技術が必須

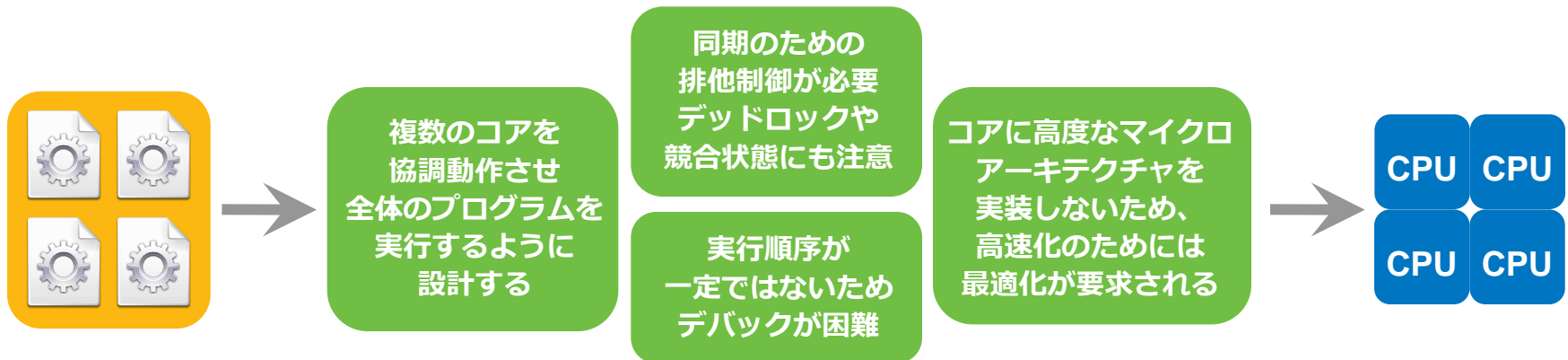
ITパラダイムシフトの先頭に立ちソフトウェア技術で市場をリードしています

当社市場の環境：なぜマルチコアプログラミングは難しい？

シングルコアプログラミング



マルチコアプログラミング



コアの同期や最適化など、様々な困難がある

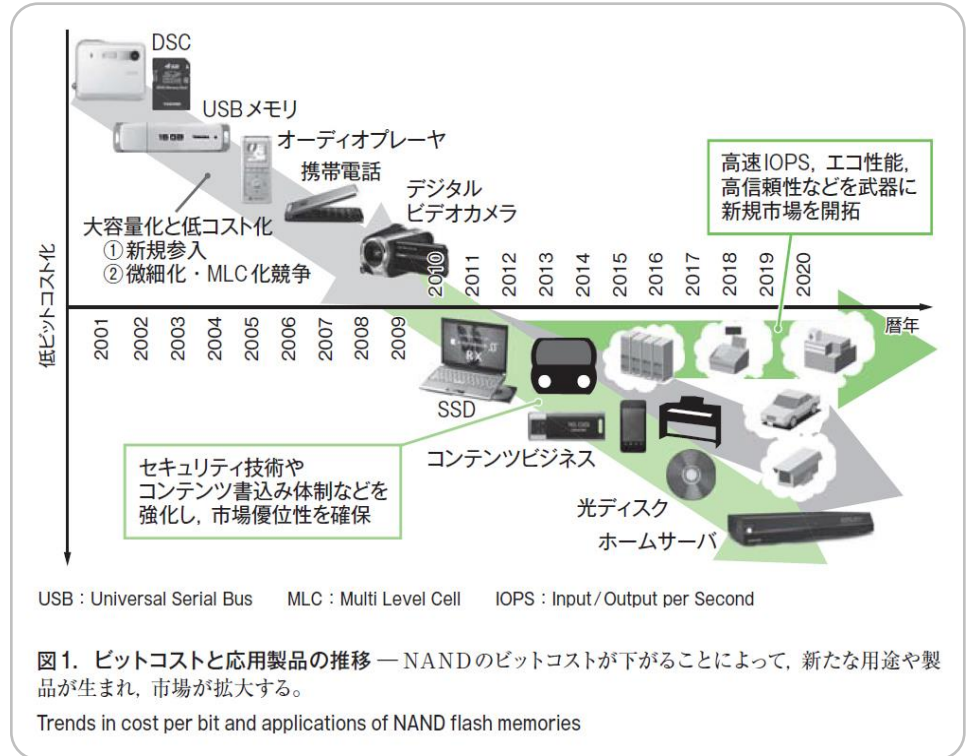
フラッシュメモリの用途を狭めていた数々のデメリット

長所 メリット

- 読み書き速度 (I/O) が速い
- 軽量、省スペース
- 発熱が少ない、省電力
- 静か

短所 デメリット

- 寿命に限界
- データの保存期間に限界
- 容量当たりの単価が高い



「半導体不揮発性メモリの技術動向と展望」東芝レビューvol.66, No.9 (2011) より

デメリットをソフトウェアで解消したことで用途拡大

『大量の計算処理』 および 『大量データの読込/書込』 の高速化が活きる分野に注力



モバイル

ストレージ・メモリ
イメージセンサー



医療画像

MRI
CTスキャン
レントゲン



産業機器

製造検査装置
製造自動制御装置



ビッグデータ分析

マーケティング分析
ゲノム解析



金融

デリバティブ
リスク管理



車載機器

標識認識
歩行者検知警報



映像機器

4K/8K画像撮影・編集
ポストプロダクション

専門性を活かし、得意分野に集中します

① ソフトウェア・サービス：高速化サービス



弊社

オリジナルソースコードのご提供

最適化サービス



お客様

コンサルティング

移植・最適化

サポート

- 性能評価
- ボトルネックの特定
- ハードウェア選定
- マルチコアへの移植
- ソフトウェア最適化
- レポート
- 実製品への組み込み支援
- 技術トランスファー
- ハードウェア提供

組込製品を中心にマルチコアの性能を高く発揮

② 高速処理システムを容易に実現するライブラリ『M³』

M³ (エム・キューブ)

- ノウハウを集結させた高速ライブラリ
- 最先端の各種マルチコアハードウェアに対応
- 移植性の高い高速ライブラリ



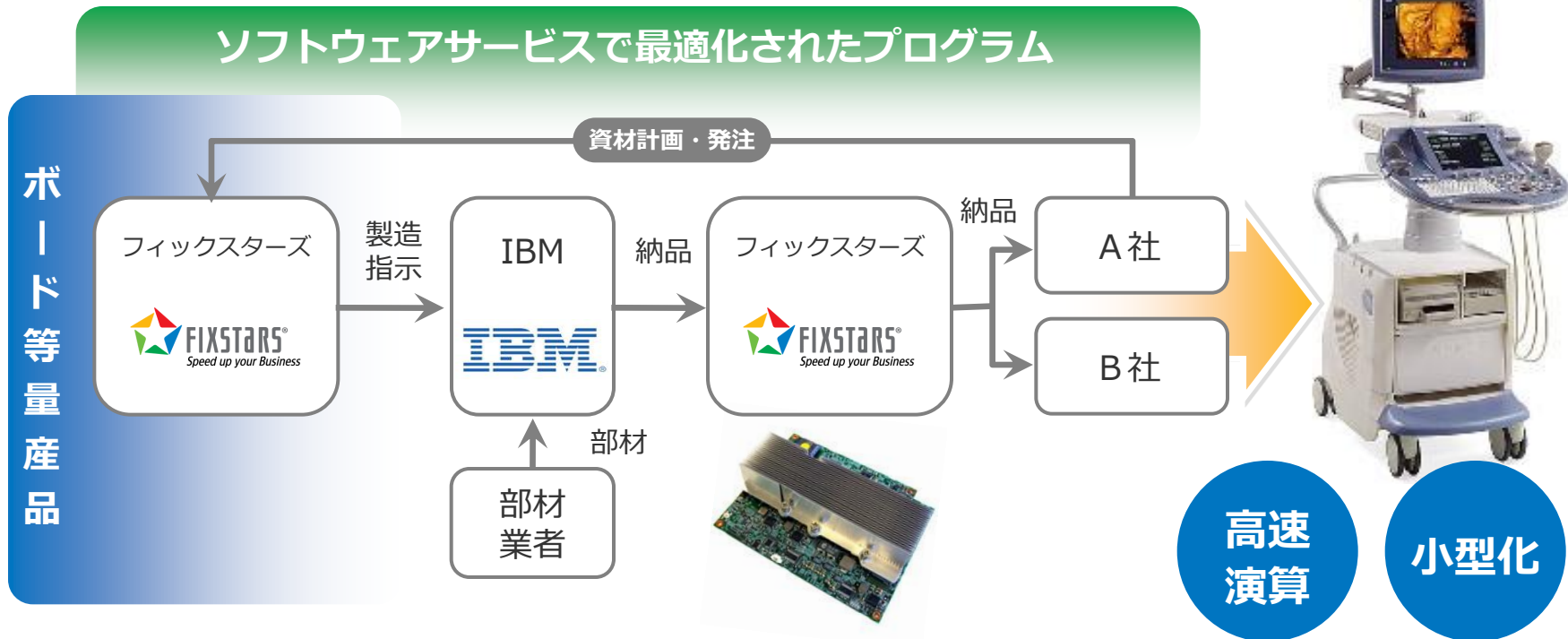
◆ 採用事例

オリンパス株式会社様 レーザー走査型顕微鏡



短期間でお客様のシステムを高速化することが可能

③ハードウェア基盤販売



最適な機器を選定して提供し、
ソフトサポートとハイブリッドでWin-Win関係を構築

④ 高速ストレージ製品 : SSD-3000M

3TBの圧倒的な大容量SSD



高速シーケンシャルライト



お客様の最終製品にあわせた
カスタマイズが可能



4K映像
制作/放送



ハイスピード
カメラ



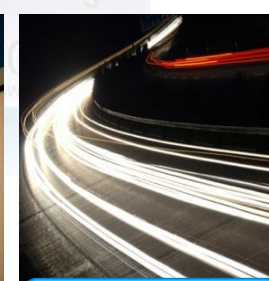
医療画像
診断装置



ビッグデータ



セキュリティ
デバイス



モバイル
データ通信

産業機器向けフラッシュストレージ製品をパートナー企業と共同企画開発

技術

マルチコア & メモリNo1

- マルチコアプログラミング分野の先駆者
- 東芝との連携により、メモリの分野でもNo.1に

人材

スーパープログラマ集団

- 著名大学出身者多数
(博士率 16%、院卒 44%)
- 9割超のエンジニア比率

顧客基盤

トップ企業との直接取引

- 東証一部企業比率 71.3%
- ほぼ全件直接取引 (商社・販売店経由除く)

高速処理のソフトウェア・パートナーとして、
グローバルソフトウェア・カンパニーを目指して成長していきます

★ ナンバーワンブランド戦略：強みを活かし成長を加速



No.1ブランドの
スパイラル的な
向上

優れた
エンジニア集団

マルチコア、GPU/FPGAで
この規模の集団は皆無

メモリコントローラの
分野でも随一

世界メーカーの最先端
中核の開発パートナー

ワクワク・ドキドキする仕事、
最先端の情報、チャレンジ

デバイスメーカーが積極的に
情報提供 → 評価、デモ

ワクワク・ドキドキする仕事、
最先端情報、エンジニア中心の
企業文化を目指して
優秀なエンジニアの集積アップ

★ ハイブリッド戦略：製品開発サービス+製品部材提供



お客様の製品 

製品開発サービス

高性能
ソフトウェア
ライブラリM³



高速処理の
ための
ハードウェア



日本最高レベルの
プログラマ集団

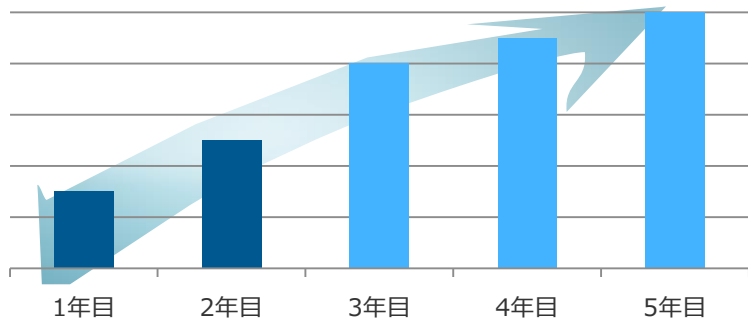
★ ハイブリッド戦略によるビジネスの成長

お客様の製品ライフサイクルにあわせ、長期にわたり継続してサービスを提供

お客様の製品ライフサイクルに応じたサービスを提供

★ フィックスターズの提供サービス

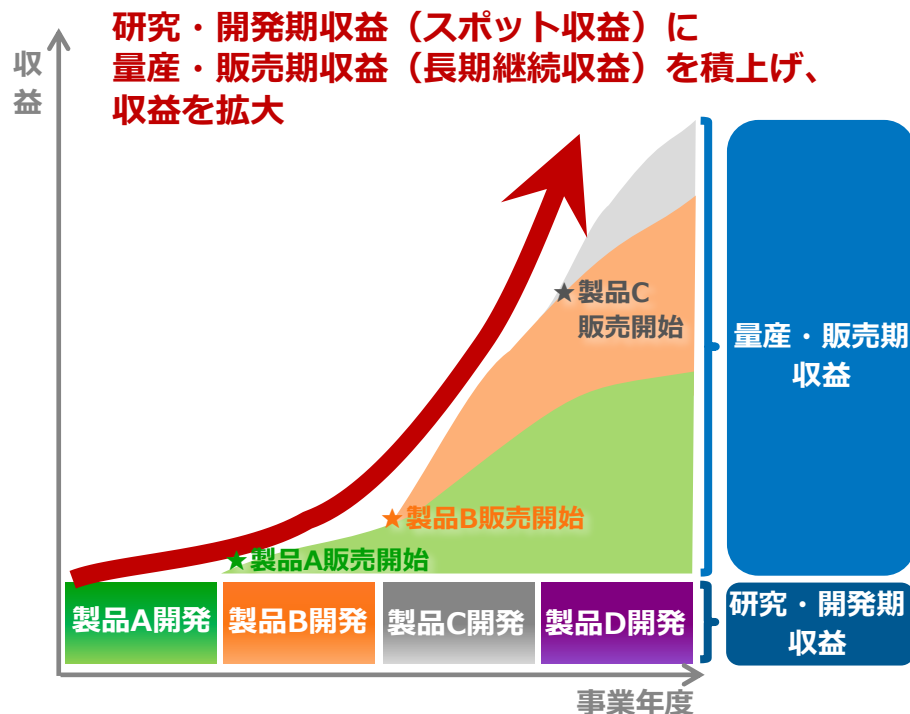
ソフトウェアサービス		ハードウェア/ソフトウェア ライブラリの販売・サポート	
共同研究	コンサルティング	部材提供	保守
最適化	サポート		



研究 製品開発 製品量産・販売

お客様の製品ライフサイクル

ハイブリッド案件増加に伴うビジネス成長のイメージ



お客様のビジネスと共に成長

NAND Flash向けソフトウェア開発で得た知見を活かし、
産業機器向けフラッシュストレージ製品をパートナー企業と共同企画開発

製品ラインナップ

SATAドライブタイプ

SAS ドライブタイプ

PCIeボードタイプ

ローエンド

ハイエンド



既存製品に比べ、大容量、高速転送を実現する
カスタマイズ可能なフラッシュストレージ製品



ソフトウェア技術を通じて
全社員の幸福および全てのお客様の成功を追求し、
フィックスターズの技術を活かして
全世界のしあわせ向上に貢献すること

ありがとうございました